

ニュースは真実を伝えない

真実を伝える時、どう伝えるかは、そもそも伝える側にとつて全く自由なのです。

また、真実がニュースにされない現実があります。

私たちは、自らの感覚と生活実感をもとに、何が本当か、しつかり現実を見て、本物や物事の本質を常に判断しなければなりません。

もつと単純化すれば、ニュースは発する側の好き勝手です。告げ口のたぐいの側面をマス

コミではニュースに扱います。あたかも真実のごとくにです。本物は消しさられ、これにより大衆世論は一方に操作されやすいものです。

金融資本主義・市場経済主義が人々を豊かにしたのでしょ

うか。社会のメルトダウンが始まったと見ている人も少なからずいます。果たして構造改革がこの社会を本当に豊かにしたのでしょ

うか。「創造と破壊」がマネー資本主義の必然です。

鳩を絞め、郵政構造改革は国民の財産が日本を豊かにするためにでなく、基軸通貨の支えに流出、日本の個人財産「ゆうちょかんぽ」を確実に米がかすめ取り、その後、消費税の大増税で国民が負担が奴隷国家日本が米のシナリオです【2月27日NO27号参照】

真実を脚色し、見えなくしてニュースを流し、世論誘導が行われていくのです。血を糧に開いてきた建国の歴史国家が、この局面で黒人を立てても、白人の歴史と本性は簡単に隠せないのです。

貧者の一灯

甘いとは思いますが、最近思い感じるのですが、人類に全能の力が働いていると考えべきでないでしょうか。悪事をする、悪事が起きる。奪ったら奪われる。

良いことをすれば、ツキが来る。与えるといつか何かもらえ

る。悪い行動も自分が、出し

たものは必ずフィードバックするものです。

西欧の自然征服思想の一神教と、自然が神仏と畏敬の共存社会の日本は、世界に類を見ない自然を愛する社会です。

類は友を呼ぶ、利害や考えが同じものは引き合います。私たちは生まれ、社会に生かされています。

命に感謝し、お互い助け合つて生きる社会の構築に向け、病んだ現代に、私たちは貧の一灯を照らしたいものです

お詫び

季節も変わり、そこはかとない喪失感が漂う昨今、皆様いかがお過ごしでしょうか。

発行が遅れています。余裕がない証明です。私の未熟さ弱さが露呈した何物でもありません。バックナンバーを見ていたら昨年の晩秋にも同じ空白がありました。また読み返し、どうも重たい内容が気になりました。今回も！？

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2009年6月15(月) NO38

地域から明るい未来を作ろう

貧困大国

日本はあつという間に欧米を越える格差社会が実現しました。この弱者の目を覆うばかりの惨状は個人の責にすり替える次元を遙かに超えました。

正にこれは米追従の国家政策の結果と言わざるを得ません。

社会の不安定化と、所得格差の拡大、地球的環境破壊の三点セットはグローバル

ル資本主義の闊歩を許した与党の失政結果です。この傷は深く、短期間に癒せません。更に悲惨な事

状況なのです。ではどのようにすればよいのでしょうか。

それは日本の歴史文化の独自性を生かし地域からの自立で、明日はないで

件が多発、社会が荒廃し復活に少なくとも三・四年以上かかると思います。明日、政権が変わったとしても大きな期待が持てません。

それだけ世界的に深刻な

しよう。米国や中央依存の体質は歴史に学ばず、単なる衰退の繰り返しです。

